

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		ハンセン病啓発事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	財津幸泰							
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	塩地由梨							
	基本事業	71	人権尊重についての理解の促進			所属班	啓発教育班	(内線)	2427							
予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	8	事業連番	10860	法令根拠		成果優先度評価結果	1	コスト削減優先度評価結果	12
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H9 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)										

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	ハンセン病を正しく理解するための人権啓発事業である。ハンセン病を正しく理解する週間に合わせて、講演会等の催しを実施する。具体的には、講演、パネル展示などを実施している。平成8年の「らい予防法」の廃止を受け、平成9年、町民のハンセン病に対する正しい知識の普及・啓発と、また、療養所入所者と町民との相互交流をより進めていくために開始した。取り組みを始めた頃に比べると、市民のハンセン病に対する理解は深まってはいるが、平成20年11月の市民アンケート調査からも菊池恵楓園を知らない人が多く、市民に対する理解と啓発を進めていく必要がある。
【業務の流れ】	①事業内容、日時、場所等の検討と決定。②講師依頼と展示物等の手配。③開催案内チラシの作成と配布及び開催の周知を図る。④講演会等の実施⑤アンケート等の実施。⑥アンケート結果の解析。
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費
【意見や要望】	菊池恵楓園入所者自治会からも、本事業を開催していくことを要望されている。アンケートでも、「このような講演会があれば、また参加したい」との声がたくさんある。平成22年8月の文教常任委員会において「市内事業所に対しての啓発方法を工夫すべき。」「講演会だけでよいのか、再考の余地がある。」という指摘があった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	
【主な予算費目】	
【意見や要望】	
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
ハンセン病問題講演会6月13日(土)ヴィーブル文化会館にて午前開催した。講師小野友道様熊本保健科学大学学長 演題「ハンセン病とはどんな病気」一心と身体の痕跡	ハンセン病問題講演会6月5日(土)ヴィーブル文化会館にて午前開催予定 講師未定
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ ア 講演会等の開催回数 回	⇒ イ 参加者数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⇒ ア 人口 人
市民	⇒ イ 市内従業者数 人
市内事業所社員	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
ハンセン病を正しく理解してもらう。	⇒ ア 正しく理解した参加者の割合 %
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 参加者にハンセン病を正しく理解してもらうことが意図のため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	
	イ 人		247	276	350	516	450	450	450	
⑤ 対象指標	ア 人		54,000	54,400	55,000	54,600	55,000	55,500	55,500	
	イ 人		18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	
⑥ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	30						
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	161	103	196	183	223	223	223
	人件費	(A) 事業費計	千円	191	103	196	183	223	223	223
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円							
		正規職員従事人数	人	7	7	7	5	7	7	7
(B)人件費	延べ業務時間	時間	160	210	200	380	200	200	200	
	(B)人件費計	千円	635	840	796	1,512	796	796	796	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	826	943	992	1,695	1,019	1,019	1,019	

総トータルコスト	全体計画
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

谷志市

事務事業名	ハンセン病啓発事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

参加者数が前年度よりも増加した。また、アンケートからも理解の促進図られていることがうかがえる。今後もより多くの市民に参加を呼びかけ、ハンセン病を正しく理解できるような内容を検討していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

事業内容等全般を再度検討し、より多くの市民が参加してもらうようにする。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

講演者の選定に苦慮している。講演会形式だけでよいのか、今後検討する必要がある。